

番号	コード				担当課	所属	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容						
1	3-1	3	1	KPIの文言	子育て支援課	金兵委員	KPIに病後児保育数があるが、病気の子どもを目標数値にするのはいかがなものか。	○KPIを修正する。 ・「 <u>病後児保育数</u> 」→「 <u>病後児保育対応保育所数</u> 」 ・ <u>目標「0→939」</u> →「 <u>0→1か所</u> 」	戦略の記載を修正する。	
2	1-2	1	1	KPIの文言	商工労働課	田島委員	若者の就労促進のKPIが「高校卒業者市内就職率60%→65%となっているが、「就職を希望する学生60%」といったわかりやすい表現にしてはどうか。	○KPIの文言に「就職」を追加する。 ・「 <u>高校卒業就職者市内就職率60%→65%</u> 」	戦略の記載を修正する。	
3				KPIの表記	企画調整課	田島委員	全体的に目標期間が5年なのか1年なのか分からないものがある。統一した表現にしてはどうか。	○原則5年後の総数を目標とし、1年単位のものについては「 <u>〇〇/年</u> 」と記載する。 ・ <u>対象項目</u> 「 <u>海外輸出量</u> 」 「 <u>網走港からの移・輸出取扱量</u> 」 「 <u>観光客の入込客数</u> 」 「 <u>天都山周辺施設入込客数</u> 」 「 <u>合宿参加人数</u> 」 「 <u>合宿等による経済波及効果</u> 」 「 <u>外国人宿泊者数</u> 」 「 <u>農大卒業生の市内就職者</u> 」 「 <u>調査・研究などの連携事業</u> 」 「 <u>子どもの学習の場の参加者数</u> 」 「 <u>市民対象講座の参加者数</u> 」 「 <u>休日救急体制の対応日数</u> 」 「 <u>救急医療体制の対応日数</u> 」	戦略の記載を修正する。	
4	3-2	1		施策の方向性	子育て支援課	田島委員	基本的な方向性「学習機会の提供と実践」のKPI「子育てがしやすいと感じる割合」の基準値56.4%はどのように設定したのか？また、目標値の60%は低いと感じるが	・平成27年3月策定の「網走市子ども・子育て支援事業計画」におけるニーズ調査の結果56.4%を基準値とした。 ・市議会特別委員会でも目標値が低いとの意見があったため、5年前の「網走市次世代育成支援行動計画」における同様の調査において60%だったことから目標値を減少した分を倍増させる65%に変更する。	KPI修正	

番号	コード				担当課	所属	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容						
1				全体	企画調整課	関西学院大学 小西教授	網走市から若者の人口が流出している現状は、大都市圏、とりわけ東京圏以外については共通する課題です。総合戦略は、そのような流れを食い止めようとする、いわばミクロの政策の体系といえます。大都市への人口流出は、工業化社会がもたらすマクロの力によって起きたことであり、今後、大都市圏から農村への人口の逆流が起きるとすれば、それは脱工業化の流れによって、マクロの社会経済動向が変わったときであるといえます。総合戦略は、そのような大転換が起きることを期待しつつ行われるミクロの取組といえます。そのような大きな時代的な視点があればさらに良いのではないかと	次期総合計画など長期的な計画の策定の際に参考にさせていただく	戦略には記載しない	
2	1			施策の方向性	商工労働課 企画調整課	日本経済研究所	人口ビジョンでは金融機関との連携をうたっていたが、本戦略ではその点の記載がない(少ない)	○別紙のとおり【企画調整課】  ○6ページ「2-1」「U・Iターン」の推進」に追記する。 「U・Iターンを推進するため、 <b>商工会議所、金融機関等</b> 関係機関と～市内企業の求人情報の提供や <b>起業支援、さらには空き家の～</b> 【商工労働課】	金融機関との連携についての記載を増やす。	
3	1-1			施策の方向性	農政課 水産漁港課 介護福祉課	地方創生コンシェルジュ (環境省大臣官房審議官) 深見氏	高齢化による農業・漁業者の離職にいかに対応するか、農業・漁業にいかにより新規参入者を確保するかが総合戦略の大きなテーマの一つになっていると考えるので、例えば <b>高齢化により農業・漁業を離職する人の既存設備等を新規参入希望者に円滑に引き渡す仕組みや新規参入希望者を都会を含め幅広く勧誘する施策、農業・漁業を離職した高齢者が網走市で暮らし続ける施策</b> などが思い浮かびます。	現在のところ、網走の漁業において、後継者対策や新規参入対策の取り組みは行われていない。(必要とされていない。困っていない。)しかし、将来的には、状況が変化していく可能性も否定できないことから、今後の施策の参考とさせていただく。【水産漁港課】  ・農業・漁業の技術を生かした再就労支援やシルバー人材センターの会員登録などが考えられるが、介護福祉課としての取組は予定していない。【介護福祉課】	戦略には記載しない	
4	1-1	2	1	施策の方向性	水産漁港課	日本経済研究所	輸出のKPIIにも設定しているホタテとサケのHACCP認定について、本文でも記載してはどうか	○5ページ「【1-2】国内外への販路拡大」「販路拡大に向けた支援」に追記する。 「～海域モニタリング等の支援を行います。 <b>HACCP認定施設保有企業数の増加などを</b> 目指します。」	本文に記載する。	

5	2			施策の方向性	観光課	日本経済研究所	観光客の入込客数はどの自治体でも記載している。網走ならではの素材や取組、例えば「流水」などについて強調して書いてはどうか	・流水は当市のオンリーワンの一つとして、また、貴重なキラーコンテンツの一つであり、流水観光のプロモーションにも力を注いでいるが、流水に関連した天都山展望台・オホーツク流水館などの施設や体験型観光など、網走に点在する豊富な観光資源を面として捉え、網走観光のネックレス化と連携の推進を図る中で各々の付加価値を向上させ、観光ポテンシャルを高める取り組みを行っており、流水との包括的なPRを展開している。	戦略には記載しない	
6	3-2	1		施策の方向性	子育て支援課	関西学院大学 小西教授	「子育てがしやすいと感じる割合」が挙がっていますが、その割合が56.4%と意外に低位なことに対して、戦略の文面からはあまり強い問題意識が伝わってこなかったことです。何が問題であるかを突き詰めて把握することは、それ自身が解決に直結することでもありますので、深い掘り下げを、戦略以外の別の場で結構ですので、期待したいところです。	・平成27年3月策定の「網走市子ども・子育て支援事業計画」におけるニーズ調査の結果56.4%を基準値とした。 ・市議会特別委員会でも目標値が低いとの意見があったため、5年前の「網走市次世代育成支援行動計画」における同様の調査において <b>60%</b> だったことから目標値を減少した分を倍増させる <b>65%に変更</b> する。	KPIを修正する	
7	2	1	3	文言の追加	港湾課	網走開発建設部築港課	「マーケット視点に立った観光客の誘致拡大」及び「広域連携による国外観光プロモーションの展開」の文中に「港湾」と「クルーズ船の誘致」を入れてはどうか。  ※10/7に電話にて、「みなとオアシス」も入れてはどうかとの意見があった。	・10ページ、「基本目標2」、「3 具体的な施策」、「1-3 マーケットの視点に立った観光客の誘致拡大」、「〇観光客の利便性向上」の最後に「 <b>さらに、みなとオアシスのエリア内に、ある施設を活用した観光施策や道内の港湾等と連携した客船誘致を推進します。</b> 」と追加する。  ・想定される取組として、「大型客船対策」が「広域連携による国外観光プロモーションの展開」ではなく、「観光客の利便性向上」に位置付けられている。	戦略に追記する	
8	1-1	1	3	具体的施策	都市開発課	庁内本部会議	国の「かわまちづくり」支援政策の活用も視野に入れ、道の駅周辺に限らず、川向のモヨロ貝塚やエコセンター周辺までを含めた表現にした方がよい。	5ページ「【1-1】地域産業の競争力を強化する取組」の「〇中心市街地と網走川周辺におけるにぎわいの創出」の文中「～市民が集える拠点づくりを支援するなど、ほか、中心市街地及び道の駅を拠点とする網走川周辺においてのにぎわいを創出します。また、道の駅周辺地区をはじめ、網走川沿いにおける水辺の環境整備を推進します。」と修正する。  ・具体的取組に「 <b>かわまちづくり計画の策定</b> 」を追加する。	戦略に追記する	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
1	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	9月15日	保育園での母親の育休退園についての意見です。今のように短期間での育休退園に疑問を感じます。待機児童の方を考えると退園と理由はわかりますので、1年半程の、もしくは、1年間でも猶予がないと少子化につながります。私も2人目の子どもが3月へ今の制度だと1月までに生まれた時、「春の入園まで職場にも戻れなかったら上の戸が退園されてしまうと大変だ」と不安な形で出産を迎えています。転勤の方々核家族の方なども考えると育児がもっとしやすくなるよう少し制度を考えていただけたら今後の働く女性方のお産への架け橋になれると思います。	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	
2	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	9月29日	育休中の退園がなくなるようお願いします。 3人の子育て中ですが、育休退園に困りながらの育児です。第2子出産後2カ月で育休に入ったので保育園通園中の第1子を退園させ未満児で幼稚園に入園させました。3歳になったばかりでお昼寝もなくなり体力的にきつそうでした。 その後、第2子育休(1年)終了後、第1子は幼稚園から保育園へ、第2子は保育園入園。 第3子出産後2カ月で産休に入り、第1子は保育園から幼稚園へ、第2子は年少まで1カ月だったのでこの間、一時預かりを利用、その後、幼稚園入園。 子どもたちにとっては下に赤ん坊が生まれるストレスに加え、環境の変化は厳しかったと思います。精神的に安定した中で弟妹を増やしてあげたかったです。これから子どもを産む、働くお母さんが安心して兄弟を増やしていけるといいなと思います。	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	
3	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	9月29日	育休退園について。 職場では育児休暇を取りやすい環境にあります。 ただ、2人目以降を妊娠、出産するにあたっては大きな不安があります。新生児を育てるには相当な負担、ストレスが生じます。 そんな中上の子が退園させられ、今までは週末だけ24時間一緒だったのが、気持ちを切り替えられるタイミングもなくずーと一緒になることとなります。 なによりも上の子にとって一番ストレスになります。幼稚園に通うとしても保育園でせっかく仲良くなれた好きな友達と別れて、また、新しい環境に慣れていかなければいけない。それに加え、今までは自分一人をずっと見てくれた親も下の子が生まれたことによって今までよりは手をかけてくれなくなる。 親も、また下の子を預けて働こうとすると2人を違う園に通わせるのも相当な負担になる。と・・・こう考えると第2子以降の出産は躊躇してしまいます。	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	

番号	コード			内容	担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策								
4	1-2	1	3	要望	職員課 商工労働課	女性	9月29日	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略を考察するにあたり、網走市全体の現状として、女性の働く環境、位置づけ等について意見を述べさせていただきます。</p> <p>女性が選挙権を得、男女雇用機会均等法が整えられたものの、女性の社会における位置づけは、今日もなお、男性と等しくあるとは言い難い現状のなか、それでも着実に女性の働く場は拡大され、女性労働人口も増加し、育児休業法などに代表される法的整備がなされているものの、職場内の支援が希薄であるため、活用できる職場環境にないこと等から自己都合退職という形で終止符を打ち、育児を経た後にはパートなどで職場復帰するなど、キャリアを積み重ねることができず、また能力を眠らせたままの女性が多い現状にあると思われます。</p> <p>そういった現状にあることが、女性の仕事に対する姿勢を鈍らせて一因となっているのであれば大変遺憾なことであり、活気ある網走市を構築していく上で重大な損失であると考えます。</p> <p>女性に対して補助的の仕事のみを割り振ることに終始せず、また、育児休業などをハンディキャップとせず、権利とし、能力や意欲のある者に対しては、管理職候補として育て、活用していくことが、網走市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を支える戦力の一つとなるのではないのでしょうか。</p> <p>網走市役所、市内金融機関や企業において女性を管理職として登用している事例が多くない現状について、一考が必要ではないかと思われます。(網走市では、数年前に次長として女性が登用されましたが、現在は0人と認識しています。)市内金融機関、企業などに先んじて、網走市が率先して部長職などに女性を登用する事例を示していただけを願います。</p> <p>また、同様に、網走市議会議員につきましても市政に熱く取り組む女性が増えていくことを願います。</p>	<p>・女性活躍推進法の成立により特定事業主行動計画(女性活躍推進)を平成28年4月1日施行で策定することとなる。</p> <p>・現在、状況把握する事項は参考として次の項目等があがっているが、具体はH27.10月中に示される。</p> <p>①女性採用比率 ②勤続年数男女差 ③労働時間の状況 ④女性管理職比率 等【職員課】</p> <p>・女性の就労対策として、子育て後の就労復帰について施策を講じ、女性のキャリアアップ及び就労率の向上を目指す。【商工労働課】</p>	戦略に記載しない	
5	3-1	3		要望	子育て支援課	男性	9月29日	<p>育児退園というのは、赤ちゃんを産むお母さんにも退園しなければならない子にとっても大きな負担です。</p> <p>子にとっては家庭で下の子が生まれるという変化とともに信頼していた先生や大好きな友達と急に別れなければならないという大きな変化になってしまいます。</p> <p>お母さんにとっては、上の子のために育休を取ることを諦めてしまったり、もっと言えば下の子を産むことさえ諦めてしまうことにもなるかもしれません。</p> <p>少子化対策と言うならこのようなことから変えてほしいと思います。</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	

番号	コード			内容	担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策								
6	3-1	3	要望	子育て支援課	女性	9月29日	<p>育休中や産後2カ月以降の保育園の退園について、せめて産後6カ月までは継続して入園できるよう改善してほしいです。</p> <p>育休明けに復職することが確定している人だけでなく、パートで退職させられてしまうけど復職する意志のある人はその権利を同等に与えてほしいです。</p> <p>私は夫が仕事で家を不在にすることが多いため、母子家庭と同じ状態なので、夜勤はできないためフルタイムパートで看護師をしていました。その時に3人目を出産しましたが、上の子2人は2歳と4歳だったので2歳の子は幼稚園にも入れないため、子ども達の環境が変わらないように産後2カ月で仕事復帰しました。</p> <p>仕事は力仕事が多く、骨盤もまだ元に戻っていない状態だったので非常に辛かったです。疲れすぎてインフルエンザや甲状腺機能亢進症などいろいろな病気にもなりました。</p> <p>少子化や女性の社会進出などをなんとかしたいなら子育てする母親の大変さを理解してください。今のままだと2人目、3人目を産む、働く母親まいなくなると思います。</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない		
7	3-1	3	要望	子育て支援課	女性	10月2日	<p>「個性豊かで持続可能な地域社会」の実現に向けて、結婚・出産の希望の実現と地域全体による子育て環境づくりについて子ども子育て支援法により、育児休暇も保育の必要性の条件に加わりました。</p> <p>なぜ網走市は新制度施行後も年長児以外は継続入園を認めていないのでしょうか。全国的に見ると「当該児童の発達上環境の変化が好ましくない」場合に当たるとして、親の育休中も保育の継続を求める自治体が多く網走市のように上の子が5歳児クラス以外は退園となるのはわずか1%です。(※)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産後すぐに仕事復帰し体調を崩した</li> <li>育休終了後、兄弟別々の保育園になった</li> <li>仕事を辞めざるを得なくなった</li> </ul> <p>…このような話を耳にすることがあります。</p> <p>子どもたちが築いてきた保育園の先生方やお友達との強い繋がりを奪いたくない…育休退園の制度は働く母親にとって大きなリスクになっています。</p> <p>子どもを産める年齢には限りがあります。どうか働く母親が安心して子づくり、子育てができるように育児休業中も上の子の継続通園を早く認めてください。少子化・人口減少を食い止める切り札になるかもしれません。よろしくお祈りします。</p> <p>(※)保育園を考える親の会「100都市保育力充実度チェック」2014年度版より</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない		

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
8	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	10月1日	<p>育休退園について。                      子育てしていく中で困ることが多いです。現在は、産休中は退園になりませんが、育休になるとすぐ退園というのは・・・。2年、3年と長期に育休を取る場合には待機児童もいるので仕方ないと思う。せめて1年～1年半位まで猶予してほしいと考えます。                      母乳栄養の人が卒乳するのもそのくらいなので親の気持ち、子どもの気持ちを考慮してほしい。市側の「子育てへの協力」が足りないと考えます。                      出産する時期によっては、出産した子がすぐに保育園に入れる訳でなく、託児所など別に通うのは料金が別にかかり高額にもなる。同じ園でないと通勤・通園も困る。大変。                      また、上の子が退園になり、いざ復帰の時に元々の保育園に入れない。入れる保障も全くない。元々の保育園の方が慣れた環境・先生に戻してあげたい。上の子も下の子ができて環境が変わるのに、それに加えて保育園の環境が変わるのは親の身勝手に思う。</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	
9	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	10月5日	<p>昨年、第1子を出産しました。今は保育園に預け仕事をしています。いずれもう一人子どもを持ちたいと考えています。そして2人目を産んだ後も仕事復帰を希望しています。                      もし、2人目が生まれ、上の子が退園することになったら、、、。そう決められているのなら従うしかありませんが、不安のないような形で退園・再入園が可能であれば受け入れられると思います。「再入園を約束してくれる」、「兄弟で同じ園に入れる」等、難しいかもしれませんが、もしこれが叶わなければ会社と約束した時期に保育園に空きがないので復職できないとか、兄弟で違う園なので、川向と潮見に通園しなければならない(送迎が大変だし、各園の行事の日がバラバラなら非常に面倒)等、働く者にとっての保育園なのに保育園のせいで負担が増えるような気がします。                      退園を強制する今の手段しかやり方は無いのでしょうか？                      これだけで少子化が改善されるとは思いませんが、2人目、3人目を産んで育休を取っても上の子たちの再入園の事などを考えなくても良い、余計なストレスが減り、育児と仕事復帰へ向けての準備に力を付けると思います。</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	

番号	コード			内容	担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策								
10				要望	建築課 子育て支援課 介護福祉課 スポーツ課 管理課 議会事務局 企画調整課	男性	10月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策</li> <li>・新婚・子育て住宅助成制度</li> <li>・出産祝い金支援制度</li> <li>・熟年(キャリア・エイジ)に優しい生活支援制度</li> <li>・フリークライミングの常設(東京五輪対応)</li> <li>・ウォーキングラリーのコース内サービスの充実</li> <li>・留学生のホームステイ制度</li> <li>・市議会議員の介護・ゴミ拾いボランティア等</li> <li>・ふるさと納税の広い活用(土地、家屋)</li> <li>・都府県の会支援協力について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策につきましては、空き家バンク等の制度創設のなかでKPIを設定し取り組むこととしております。</li> <li>・子育て住宅については新築補助ではなく高齢者住宅の住み替えの方向性で検討する。【建築課】</li> <li>・高齢者を対象とした支援制度は、ごみ出し・除雪・ヘルパー派遣による生活支援などを実施しており、更に、買物支援にも取り組む予定である。今後、様々な機会に要望を把握することで、新たな生活支援を検討したいと考えている。【介護福祉課】</li> <li>・小中学校における留学生の受入れ実績はないが、留学の話があれば受入れ体制について検討していく【管理課】</li> <li>・市議会議員も一個人として、地域住民や網走市民と協働してゴミ拾い等のボランティアを行っている。【議会事務局】</li> <li>・ふるさと寄附の場合、高額又は寄付額に対し返礼割合の高い返礼品は自粛するよう通達があり、土地や家屋を返礼品にすることは適していないと判断する。【企画調整課】</li> </ul>	戦略には記載しない	
11	1-2	1		要望	商工労働課 子育て支援課	女性	10月5日	<p>若い世代の就きたい仕事と受け皿である企業の要望が少しでも近づけるために、<u>体験就労の1回や1職種だけというような制限をなくす取組が必要ではないでしょうか。様々な体験をすることが地元で長く働く意欲につながると思います。</u></p> <p><u>若い世代だけでなく、低賃金労働や労働基準法が守られないような働き方に対し、相談しやすい窓口を周知する必要があると思います。</u></p> <p><u>女性の就労促進で、出産時の復職支援以外にも長く働くことで経済的な自立ができるような支援(インターンシップや資格取得の支援)も充実し、誰もが経済活動に参加できればと思います。</u></p> <p><u>労働時間の短い仕事を望む人のニーズもくみ取った就労支援があれば、子育て中や介護中、離職後の再就職意欲にも役立つのではないのでしょうか。</u></p> <p><u>保育料の算定基準上の難しさはあると思いますが、保険料の負担割合が高い印象があります。子育てには多額の費用がかかるうえに保育料が高ければ、収入の大部分を保育に費やしてしまう実態を解消できないのでしょうか。</u></p> <p><u>出産や子育てに関する様々な情報提供の窓口が分散せず、利用しやすいものとなるよう公共施設を使っての巡回相談はできないでしょうか。</u></p> <p><u>毎年ごみ処理に関する資料が配られますが、裏面を利用して様々な相談窓口を書くことができないのでしょうか。うっかりなくしてしまう確率が低いと思います。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験就労は、インターンシップの推進で対応。</li> <li>・労働相談窓口は、市やハローワーク、労基署及び労働委員会等現行体制で対応することになるが、今後とも継続的に周知していく。</li> <li>・女性の就労対策として、子育て後の就労復帰について施策を講じ、女性のキャリアアップ及び就労率の向上を目指す。</li> <li>・労働時間の短い仕事に対する支援については、短時間労働の助長につながることも考えられることから、他の仕事と区分をせずに対応したい。【商工労働課】</li> </ul>	戦略には記載しない	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
12	3-1	3		要望	子育て支援課	女性	10月6日	産休・育休の間も保育園にそのまま入れる制度を作ってほしいです。 その期間は母親にとって精神的にも肉体的にも辛い時期なので、上の子どもが保育園に行ってくれると助かると思います。 子どもにしてみせたく仲良くなったお友達とお別れするのは悲しいことだと思います。仕事復帰する際もまた保育園に入れるか不安になると思います。	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	
13	3-1	3		要望	子育て支援課 介護福祉課	女性	10月7日	人口減少が進む中、子育てしやすい環境作りと高齢者の健康寿命の拡大が大事になると思います。 現在、医療費は3歳まで無料ですが、これを15歳まで延長を検討しているようですが、子育て次第の支援策は重要なので思いきった充実をお願いします。 健康は体力、体質などで個人差が大きいと思いますが、健康こそが生きがいのもとです。健康寿命を延ばすことが基本になるわけですが、町内会、老人クラブ、各種サークルスポーツ活動を通してその理解と活動を高めるため、周知、活動促進などに支援を行うべきだと思います。	・地域等との連携により高齢者の身体機能の維持向上を目的としたら健康トレーニングや介護予防に対する認識の高揚及び介護予防に資する知識の普及啓発を目的とした介護予防事業を実施している。【介護福祉課】	戦略には記載しない	
14-1	1-2	1	5	具体的取組	商工労働課	男性	10月7日	OU・ターンの推進 地元出身者で現在、他の地域で修業している飲食店・カフェ従事者の網走での開業、代替わりを支援する制度があればいいと思います。ふるさとに帰ってきたい、親の後を継ぎたいと思っている人に決断の後押しをしてあげる環境づくりが必要と考えます。(事前に情報収集が必要)具体的には、開業資金支援、家賃の一定期間免除、転入支度費の補助等。	・Uターン支援として、市内企業求人情報の提供のほか、起業支援についても行いたい。(起業化支援事業の拡大等)。 【商工労働課】	6Pに追加する。	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
14-2	2-1	1	2	具体的取組	商工労働課 観光課	男性	10月7日	<p>○天都山エリアの魅力構築 「リスの森」から、「風花」、「天都ランド」、「流水館」、「網走監獄」のラインについて、スイーツ、カフェ、自然景観を一つのコンセプトとしたエリアでのアピールをやってはどうでしょうか。(例えば「〇〇ロード」の命名)個店(点)の発信から線・面でのアピールを行っていく上で、新規事業者の出店、既存店の移転等を進める必要があります(またはアンテナショップが入居できる施設の建設)、東京農業大学創成塾生との連携、資金支援(制度資金、補助金、家賃補助等)等も検討すべきと考えます。 また、大曲湖畔園地を含めた網走湖周辺を一つのエリアとしたアピールもあると思います。</p>	<p>・新規起業者及びものづくりに係る支援については、既存の補助制度を活用していただく。【商工労働課】</p> <p>・天都山の魅力アップやPRについては天都山エリア魅力構築事業で取り組んでおり、其々の魅力の「つなぎあわせ」を目指し、各々のユーザーの行動をイメージした、エリアでの楽しみ方などの具体的な提案などを基本に、その活性化戦略の方向性を踏まえながら、ハードとソフト整備の両面で検討していきたい。 ・目標とする方向性は同じ。現戦略案に記載済。【観光課】</p>	戦略には記載しない	
14-3	2-1	1	3	具体的取組	観光課 水産漁港課 港湾課	男性	10月7日	<p>○体験型観光の促進 釣りの体験メニュー創出においては、海(船、海岸)、川、湖等での釣れる魚類は豊富であることから、入込の拡大は見込めると判断しています。魚種別、時期別、地域別に示すことはもとより、市外の釣り愛好家にどうアピールしていくかが大事だと思います。また、釣り人に対しアンケートを取る等にして、釣り環境の整備を図ることも必要と考えます。 また、安全に釣りを楽しめる釣り場スポットの確保も検討してはどうか。(漁業関係者や港湾管理者との調整が必要)</p>	<p>・体験型観光を促進する方向性は同じだが、釣り人とは種々トラブルも起きていることから、需要調査を実施し関係機関との調整を図りながら、取り組みについて慎重に判断する必要がある。【観光課】</p> <p>・漁港の機能・目的等が確保されることが最優先であり、それらに支障のない範囲で漁港での釣りを認めているが、あくまでも副次的なものと考えている。 ・釣り場スポットの確保などの考えはない。【水産漁港課】</p> <p>・港湾施設内における釣りについては、立入禁止区域を除いて、副次的な利用と考えており、港湾業務に支障がない範囲で開放している。これ以上、釣り場として利用を拡大することは難しい。【港湾課】</p>	戦略には記載しない	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
14-4	2-1	3	2	具体的取組	商工労働課 観光課	男性	10月7日	<p>○観光客の利便性向上                      交流人口の拡大を図る上では、インバウンドの対応レベルの向上が急務と考えます。国内旅行者が減少している状況の中で、インバウンドの入込は増加しており、さらに観光バスの利用のほかに、個人、小グループの旅行者も増えてきていると思います。入込外国人がいかに網走市でお金を使ってくれるかを考えていく必要があります。そのための現状把握、課題の洗い出し、改善点を官民一体となって進めていく必要があると思います。                      (案内、メニュー接客等言葉の対応、代金決済方法、発送対応、免税店、業者を対象としたセミナーの開催等)</p>	<p>・インバウンド受入拡大の環境整備については、空港や航空路線のトータルな整備と拡充、続く2次交通の総合的対策などとことどもならず、外国語表記、情報伝達コンテンツ、wi-fiなどの通信環境整備、滞在コンテンツなど多種多様な課題があり、今後の広域観光周遊ルート形成事業計画では、地域の連携と包括的な取り組みを推進する方針であり、当市としてのスタンスも同じである。                      ・したがって、目標とする方向性は同じ。現戦略案に記載済。【観光課】</p>	戦略には記載しない	
14-5	2-1			具体的取組	観光課 水産漁港課 港湾課 農政課 商工労働課	男性	10月7日	<p>○その他                      天都山地区とは別に、「道の駅網走」周辺を食、お土産、網走川をコンセプトとしたエリアアピールも必要と考えます。農協(個別農家)と連携した農産物の直売所の開設や、地元の食材(かまぼこ、海産物)販売や飲食店経営をするための施設建設を自治体が行い、地元販売業者の負担を減らすことが必要。                      また、道の駅駐車場には多くの車中泊を行う人が増えており、利用者ニーズを把握し(例えばコインランドリー、朝、夜対応の飲食店他)対応も必要と考えます。</p>	<p>・網走市観光振興計画2014においても、「道の駅流水街道網走」を核としたオホーツク・ウォーターゾーンとして観光ゾーニングされ、近年では流水硝子館やオホーツクマルク網走番屋も開業し、網走川河岸のリバーサイドゾーンとともにその観光機能の向上が期待されているが、今後のハード整備については現状のゾーニングの観光機能を向上していく中で研究していきたい。【観光課】</p> <p>・水産物の直売に関しては、買受人組合(小売部会)との調整・協議が必要となるが、漁協としては消極的である。                      ・一方で、販路の拡大等も重要な課題であることから、庁内部局間の連携のもとで進めることができるものがないかなど、今後の施策の参考とさせていただく。【水産漁港課】</p> <p>・1-1地域産業の競争力を強化する取組、中心市街地と網走側周辺における賑わい創出の一環と考え、特に記載しない。【商工労働課】</p> <p>・「道の駅流水街道網走」については、旅客ターミナルである「みなと観光交流センター」として整備をしたものであることから、乗船客以外の利用に関する販売等のスペースを拡充することは、国の許可等の関係で難しいが、「施設を活用した観光施策を推進すること」を具体的な施策の中に盛り込み、施設を活用したイベント等の開催で対応していきたいと考える。【港湾課】</p>	別途記載済【港湾課】	

番号	コード			内容	担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策								
14-6	3-1	3	1	具体的取組	子育て支援課 商工労働課 税務課	男性	10月7日	○子育て世帯への支援 子育て世帯の所得額を増やし、出生率の向上と子育てしやすい環境を整備する観点から、①中学生以下の子どもを持つ女性(網走市に居住)に対し、一定の所得税・住民税の負担を軽減するなどし、女性の就労支援を行う。②女性就労の後押しとして、保育サービスの充実(子どもの受入時間等の対応<開所日、延長保育等>、金銭的負担の削減等)を行うことも必要と考えます。	・税の負担軽減につきましては、法令の規定により定められており、網走市が独自に何らかの対応をするということはないものと考えております。 ・このような課題につきましては、税制と社会保障や福祉などの税制以外の制度とあわせて、国において、制度間の調整が図られ、税制改正の議論などを通じて解決されるべきものであると考えております。【税務課】	戦略には記載しない	
14-7	4-2	2	1	具体的取組	商工労働課 市民課 農政課 水産漁港課	男性	10月7日	○多種多様な人材の育成・確保 経営者、技術者、地域リーダー等の地域や地域企業の発展に必要な人材を育成していくため、自治体、商工会議所、金融機関(農協、漁協含む)と連携し、長期的なスケジュールの中で、セミナー・勉強会や他地区との交流会・意見交換会等を企画していく必要があると考えます。	・市民活動に参加・参画できる窓口となっている市民活動センターの機能充実を図りたい。【市民課】 ・このような企画に対して、漁協が参加するかどうかについては、今後の議論となると考える。 ・概念としては4-2-2-2(人材の育成・確保)に包括的に含まれるのではないかと考える。【水産漁港課】 ・4-2-2人材の育成・確保で対応。今後の取り組みの参考とする。【商工労働課】	戦略には記載しない	
14-8					企画調整課	男性	10月7日	具体的施策、KPIを達成するために行われる各取組について、どこがどこと連携し、いつまでにどの程度行うのかを確実に決定していく必要があると思います。 特に誰が(またはどのセクションが)中心となってアクションを起こすのかを明確にするべきと考えます。 今後、施策実現に向けた具体的戦略を決定していくと思いますが、立案時の段階から関係団体との連携が必要と考えます。(関連団体に何を期待するのか、関連団体は何ができるのか) また、過去に企画した同様の施策で思うように進まなかった事例についての分析が必要と考えます。(計画そのものに無理があったのか、計画は良いが推進する体制が構築されていなかったのか、組織はできているが実際にアクションを起こす人の問題なのか、行動の管理体制はできていたのか等)	戦略の実行及び見直しの手法の参考にさせていただく。【企画調整課】	戦略には記載しない	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
15-1	1-2	1		具体的取組	商工労働課	女性	10月7日	<p>○若者・女性等の就労機会拡充について                      経済格差や貧困が社会問題化している中、特に若者・女性は非正規雇用の割合が高く、低収入のために結婚・出産・子育てなどをはじめとする将来の人生設計に不安を抱える人々が多数存在しています。                      若者の就労に関しては、インターンシップの受け入れや地元企業の雇用支援は大変意義のあることと思いますので、評価指数の「高校卒業者市内衆力率」以外にも、正規雇用者の増加や勤続年数の長期化などが実現するような取組を期待しています。                      上記に加えて、女性の就労に関しては「結婚」・「出産」・「介護」が大きな転換期となっています。特に子育て世代は仕事のスキルが備わり、職場の重要な戦力となっている年代で、出産離職者を少なくすることは、持続可能な地域社会を作る上で大切なことですが、個々の努力には限界があります。当事者の希望に反して離職せざるを得ない事例も少なくありません。                      そのような中で行政が資格取得支援や環境整備(賃金・休暇など)を進める起業支援を行うことは、とても意義があると思います。当事者(女性)が希望に応じて働き方の選択が出来るよう、様々な環境整備を期待します。                      評価指標の「女性の就労割合」向上以外にも、正規雇用者の増加、出産・育児期間の離職者の減少、就労形態の満足度(就労の質)の向上が実現するような取組を期待しています。                      これらが改善(向上)することは、若者と女性の就労機会の拡充だけではなく、全体的に就労が拡充されることに繋がるのではないのでしょうか。地域で働くこと＝地域で暮らすことですから、全体の就労の質の向上は網走市がより暮らしやすい街であることを証明するものになると思います。いかがでしょうか。</p>	<p>・正規雇用化については、これまで同様継続的に啓蒙活動を実施していく。勤続年数の長期化は、個人的な要素も多いことから、特に記載しない。                      【商工労働課】</p>	戦略には記載しない	
15-2	3-1	3	1	具体的取組	子育て支援課	女性	10月7日	<p>○出産・子育ての負担軽減について                      行政と企業(雇用者・サービス提供者)などが連携し、多方面から子育て世代への支援を行うことを期待します。                      保育サービス充実の評価指標として病後児保育数が設定されましたが、これは保育料の負担と併せて働く子育て世代にとって大きな悩みですから、大きな変化だと思えます。ただ、導入の結果、保育料の負担増や保育所で働く方々の働きやすさの低下に繋がらないよう、十分な検討と配慮が必要だと考えます。特に保育所の体制については、保育士の方々や関係する労働組合などと十分な話し合いを行い、安心して子どもを預けることのできる環境を整備していただくよう要望します。</p>	(別紙のとおり)	戦略には記載しない	

番号	コード				担当課	意見者	日時	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容							
15-3	3-1	1	1	具体的取組	商工労働課	女性	10月7日	<p>○学習機会の提供と実践について                      少なくなってきたものの「育児は女性の問題。女性の就労は家事・育児と両立出来る範囲で」という考えは根強くありますし、「マタニティハラスメント」という言葉を耳にすることも残念なことに珍しくなくなってきました。このような状況では、経済活動の担い手として「女性」をどう活用していくかという視点だけでは女性の負担が増すばかりではとの不安があります。                      基本目標に「若い世代が健康で、希望に応じて…」と掲げてあり、これはとても重要です。若い世代の親(父・母)が協力して子育て市、それを取り巻く地域社会・企業も様々な形でサポートをすることで、より良い形でのワーク・ライフ・バランスが実現し、網走市の暮らしやすさの向上に繋がるのだと思います。そのためにも、男性や企業の意識向上に向けた取組推進は、とても重要で意義のあることです。                      男性の意識向上の取組は、子育て世代のみならず親の世代(経営者・企業の管理職世代)を対象に含めることで実効性が向上するのではないのでしょうか。特に男性には周りの男性(親・上司など)の理解や教官が強い支援になるとと思います。</p>	<p>・3-2-1ワークライフバランスの実現、学習機会の提供と実践で記載済みと考える。                      【商工労働課】</p>	戦略には記載しない	
15-4	1-2	1		具体的取組	商工労働課	女性	10月7日	<p>○雇用の場の創出と就労支援(再掲)について                      若い世代の雇用形態・低収入の不安については前述のとおりです。各取組の結果、若年世帯(子育て世代)が安定した収入を得られ、低収入世帯の割合が減少することを期待しています。</p>	<p>・所得向上は、個々企業の対応によるところが多く、計画に記載することは難しい。                      【商工労働課】</p>	戦略には記載しない	
16	2-1	1	1	具体的取組	観光課	男性	10月7日	<p>○ケーブルカーの設置について(ゴンドラ)                      画期的に網走に日本一のケーブルカーを知床連山に平衡して台町、二つ岩に向けて走らず途中で市内に駅を作り市民、観光客を昇降させ4条商店を活性化させる。これは世界観光では有名なシンガポールのテントサート島にケーブルカーを走らせている。                      網走は冬夏ともに運行できる海を渡るケーブルカーにあると思う。画期的な手を打ち網走を世界に知らしめる。これが網走の進む道でこれ以外に手はない世界遺産の活用です。高価になるが。                      ○トロッコの新設について                      これも同じく大台から斜里岳方向にトロッコを降ろす。これはケーブルカーと同じ駅にして、一括運用とする。これもオーストラリアで人気です。ケーブルカーと一体で運用することに寄り人気沸騰間違い無しです。                      私はいずれも乗っております。私は聞く必要ありと思いますがいかがでしょうか。(安価でできる)</p>	<p>・ハード整備に対する投資が相当額が必要で、持続的な事業としても費用対効果のリスクが高いことも想定されるので、参考とさせていただくこととめたい。                      ・有名観光地の事例や施設も調査、研究しながら、ソフト面で見せ方や取扱い方も検討してまいりたい。【観光課】</p>	戦略には記載しない	

番号	意見要旨	区分	市の現状	課題	今後の対応すべきか、現状のままか	備考
1	育休中の退園関係	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則は家庭で保育可能なため退園</li> <li>・国の通達により地域の実情と公平性の観点から、「上の子が年長児の場合」と「発達上好ましくない場合（障害児）」継続入園を認めている。</li> <li>・再入所の際は優先利用の選考点数を加算するなど対応している。</li> <li>・10/1現在の待機児童は、0歳児には8名の待機児童がいるが、0歳児以外は施設を選ばなければ入所可能（注7（他の施設があるのに待機している）4名おり、このケースは毎年生じている））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部では継続入園を認めているが、理由は一度退園すると入園が難しいためであるが、一方で入所要件を満たしていながら待機まちをしている保護者からの不満もあると考えられる。→各自治体で取扱いについて見解が相違する。都市部→待機児童多数→一度退園すると再入園困難→継続認める</li> <li>過疎部→恒常的に定員割→継続認める（網走市ではどちらでもない。原則どおり）</li> <li>・継続入所を可能とした場合、特定の施設に児童が集中し、待機児童が増加する。</li> <li>・また、母親などが家庭で子どもと一緒に過ごすことのメリットも考慮すべきとの意見もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則産後8週以降は退園の取り扱いではあるが、待機児童の実情などを踏まえながら、子育て支援の目線から実情に合わせ検討していきたい。</li> </ul>	
		女性				
		女性				
		男性				
		女性				
		女性				
		女性				
2	産後の継続入園（産後8週以上）※育休取得ができない職場だが、復帰する意思があるので継続入園を認めてほしい。	女性	子ども・子育て支援法施行規則第八条第3号口に基づき、育休中は産後8週までと規定されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令で定められているため、独自判断はできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の取扱いを継続</li> </ul>	
3	出産祝い金支援制度	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各健康保険・健保組合・共済組合等で出産一時金が支給されることや、一時的な現金給付では、出生率の改善の効果がみられないことで、現在見直されている傾向にある（H24.2.14市長への手紙の回答参照）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の子育てサービスの充実を検討する。</li> </ul>	

番号	意見要旨	区分	市の現状	課題	今後の対応すべきか、現状のままか	備考
4	保育料軽減	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網走市の利用者負担額は国の階層より細分化し負担を軽減している。(国8階層 市17階層)</li> <li>・ 新制度の施行に伴い、算定根拠が所得税から住民税に変更となったが、このことにより負担増となる世帯については、在園児に限り両者で計算し低い方の金額を適用している(激変緩和)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記の軽減措置の実施により一般財源を投入している。</li> <li>・ さらに軽減による一般財源投入は困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽減措置を講じていることから、現在の保育料の算定のまま実施していきたい。</li> </ul>	
5	出産・子育てに関する窓口の利便性(巡回相談等)	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度より、医療費助成事務については、子育て支援課に窓口を集約化している。</li> <li>・ 地域における子育て相談窓口は子育て支援センターで担当</li> <li>・ 母子保健関係は保健センターで担当している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健分野(市民部)と福祉部における連携などの体制づくりが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療と福祉の窓口を一元化することは難しいが、どのような相談窓口の体制づくりができるか検討していきたい。</li> </ul>	
6	医療費の無料化対象拡大(15歳)	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年8月より、中学生以下の入院に係る医療費の無料化を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの健康維持と併せて保護者の経済的負担の軽減などの観点から重要</li> <li>・ 小児科医療体制の確保も重要な課題となることから、両者のバランスを図りながら予防事業や相談などの支援と併せて考えていく必要</li> <li>・ 財政負担(外来も無料化すると1億円以上の一般財源が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化を背景に子育て支援サービスの充実についての需要が増えてくると考えられるので、子育て世帯への負担軽減策を検討していく。</li> </ul>	

番号	意見要旨	区分	市の現状	課題	今後の対応すべきか、現状のままか	備考
7	保育サービスの充実（延長）	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 潮見保育園と認定こども園つくしで、18:30～19:00の30分間延長している。 1日100円</li> <li>・ 30分の延長保育を利用している人数は、1日4～5人程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さらなる延長については、需要が少ないと推測されるため、委託先の効率的な職員配置体制含め検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現段階では現状のままとするが、今後のニーズをふまえ、実施体制の構築と財源確保を検討していく。</li> </ul>	
8	保育サービスの充実（開所日） ※企画調整課に確認し休日開所等と推測	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行では、実施していない。</li> <li>・ ニーズ調査では「利用の必要なし」が73%を超え、「毎週利用したい」が2%程度、「月1～2回程度」が17%程度となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日など開所日を増やすことについては、需要が少ないと推測されるため、委託先の効率的な職員配置体制含め検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現段階では現状のままとするが、今後のニーズをふまえ、実施体制の構築と財源確保を検討していく。</li> </ul>	
9	病児保育導入時の保育料や働く保育士の負担増への懸念	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行では実施していない。</li> <li>・ ニーズ調査により需要も高かったことから、子ども・子育て支援事業計画で実施を計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設とその施設における職員（看護師・医師）の確保</li> <li>・ 関係機関（医療・福祉関係）との協力体制の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は先進地視察などにより、左記の課題を解決・調整し、保育士の適切な労働条件を確保していく。</li> </ul>	

番号	コード				担当課	意見者	意見	担当課コメント	対応方法	備考
	基本目標	方向性	具体的施策	内容						
1-1	4-2	2	1	想定される取組	企画調整課	男性	将来住みたいまちづくり・人づくり、どんなまちにしたいのか、仕事、学習や遊びについて、市長と子どもたちの「意見好感会」を定期的に関いては。	みんなの市長室で対応できるため、意見好感会は開催しない。	戦略には記載しない	
1-2	4-2	2	1	想定される取組	企画調整課	男性	子ども広報の発行	紙面スペースの確保、子ども広報のための取材・編集が物理的に困難である。	戦略には記載しない	
1-3	5-1	2	1	想定される取組	健康管理課	男性	全市民の合言葉として、「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させる運動を展開しては。	生活習慣病などの予防対策の取組みとして、「ベジラブル運動」を推進している。これは、子供にも対する野菜いっぱい給食などの取組を含まれており、戦略ではベジラブル運動を基本に推進していく。	戦略には記載しない	
1-4	5-1	2	3	想定される取組	介護福祉課	男性	高齢者がまちづくりに参画するための仕組みづくりとして下記に取り組んでは。 ①夫婦で参加できる「歳をとるための家族教室」の開催 ②老年行動学の履修	・多くの元気高齢者がボランティアとして社会参加し、地域の高齢者を支えている現状がある。 意・見のあった取り組みについては、定年後や老後に備える趣旨と考えられるため、現状では取り組む予定はない。	・戦略には記載しない。 ・学びについては、社会教育(生涯学習)との協議が必要と考える。	
1-5	5-1	2	3	想定される取組	介護福祉課	男性	高齢者が高齢者を支える仕組みづくりを制度化する。	・災害者要援護者登録制度を実施しており、行政関係機関をはじめ、民生委員・町内会・老人クラブなどと情報を共有している。 ・また、老人クラブ連合会では、H26から友愛会員による見守り活動に取り組んでおり、今後、支援を予定している。	・戦略には記載しない。 ・現行事業の周知を強化するとともに、町内会・老人クラブ・民生委員などの地域や医療・介護などの多職種が協働する地域包括ケアシステムの構築を進める。	
1-6	5-1	2	3	想定される取組	介護福祉課	男性	高齢者が出かけやすい遊び場を作っては。	市内13箇所に設置している高齢者ふれあいの家が当該意見に該当する事業となる。	・戦略には記載しない。 ・ボランティア団体と連携することで、高齢者のニーズを考慮した事業内容の取り組みを検討する。	

1-7	5-2	1	1	想定される取組	商工労働課	男性	高齢者の移動手段を確保するため、専門家に交通網の診断を受け、ITCを活用した小型巡回乗合タクシーの仕組みを制度化する。	・4-2-1コンパクトシティの推進、コンパクトシティの実現に向けた取組に含まれる内容と考える。小型巡回乗合タクシーに特化する書き方はしない。	戦術には記載しない。	
1-8	2-1	1	3	想定される取組	観光課	男性	観光客が地元の生活文化を体験しながら住民と交流する滞在型観光資源の提供を目指しては。	・滞在時間の拡大促進に向けて観光協会と連携しながら、豊かな自然や地域資源を活用した体験観光メニューや、水産加工協同組合の協力による水産加工体験など、また、それらの資源をコラボさせた「ガイドウォーク」などユニークなメニュー開発など、数多くの取組を行ってきた。 ・体験型観光を事業として、市場性、事業性、収益性も併せて考えていかなければならないという課題もあることから、事業者などとの意見交換などを行いながら、今後は更なるアイテムの充実、環境整備を図る取組を進めたい。	戦略には記載しない	
1-9	2-1	1	3	想定される取組	観光課	男性	地域に伝承されている民芸・食事なども観光資源し、観光客を受け入れるメニューになるのでは。	・「オロチョンの火祭り」や「豊郷神楽」などは、当市の代表的な伝統芸能の一つであるが、今後これらを観光資源にどう活用することが可能か研究したい。	戦略には記載しない	
1-10	2-1	1	4	想定される取組	観光課	男性	農大の大学案内を活用して網走のPRしてはどうか。	・毎年農大世田谷キャンパスに本物の流水を持ち込み、流水パタラや観光DVDで網走のPRを行っている。農大とは様々な形で産学官連携し、新たな商品も生まれ「ものづくり」の機運が醸成れるなど大変いい効果が表れている。	戦略には記載しない	
1-11	4-4			戦略に該当する施策なし	管理課	男性	子ども110番と子どもたちの距離をなくすため、子どもたちと顔見知りになれる機会を作っては。	今後の施策の参考にさせていただく	戦略には記載しない	

1-12	4-4			方向性の追加	社会教育課	男性	遊びは子どもの成長学習する時間 ①子どもの遊びの現状についてアンケートを実施し、地図化 ②子どもシンポを複数回開催 ③危ないこととそうでないことの正しい知識を身につける場を設ける	方向性としては、具体的な施策「子どもの多様な学習の場の創出」に含まれている。具体的な提案については施策の参考とする。	戦略には記載しない。	子どもの学習機会の創出については基本目標「4-3」で記述「4-4」は全ての世代
1-13	4-4			方向性の追加	社会教育課	男性	学年や年代を超えた子どもたちだけで交流できる場として、通学路に遊び場、自然のスペース・アジトスペース・オープンスペースを設け、プレーリーダーを置いてはどうか。	学校教育、社会教育それぞれ、既存の施策で世代間交流の取り組みが行われている。	戦略には記載しない。	子どもの学習機会の創出については基本目標「4-3」で記述「4-4」は全ての世代
1-14	4-3	1	3	想定される取組	社会教育課	男性	子どもが自由と規律を体験して身に付く場として、こども遊び科学館を開設してはどうか。	市総合計画により検討。	戦略には記載しない。	子どもの学習機会の創出については基本目標「4-3」で記述「4-4」は全ての世代
1-15	4-3	1	3	想定される取組	社会教育課	男性	網走を遊び日本一のまちにするため、全国遊び体験大会を開催してはどうか。	方向性としては、具体的な施策「子どもの多様な学習の場の創出」に含まれている。具体的な提案については施策の参考とする。	戦略には記載しない。	子どもの学習機会の創出については基本目標「4-3」で記述「4-4」は全ての世代
2	5-3	1	1	想定される取組	都市開発課	女性	歩道に設置している花壇を木製ベンチにしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道にある植樹帯は、花壇や低木・高木を植えて景観や歩行者の緑陰の空間として整備した箇所である。</li> <li>・花壇の利用は、町内会が主に花を植えて管理していることからベンチの設置は、町内会と協議が必要と思われる。また、低木・高木については道路交通の安全性と通行の快適性を高める目的で交通に支障がある箇所は伐採している。</li> <li>・その後の植樹帯利用手法(町内会による花壇利用、歩道幅員の拡幅改良等)を検討している状況である。</li> <li>・ベンチを設置することも検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略には記載しない</li> <li>・「公共施設等の環境改善の推進」の中で検討することで対応したい。</li> </ul>	